

# エフコープ生活協同組合 (福岡県糟屋郡篠栗町)

## 活動の概要

- ▶ 東日本大震災による福島県を中心とした東北地域の正しい情報を発信し、生産者と消費者の交流の機会を創出することで、消費回復・拡大につなげる取組を行っている。
- ▶ 「平成28年熊本地震」「平成29年九州北部豪雨」では、熊本・福岡県内に設けられた避難所や応急仮設住宅での炊き出し・サロン活動で被災地食品を積極的に活用した。
- ▶ JAふくしま未来との協定に基づき、同JA管内で生産された農産物の規格外品を活用した六次産業化商品等を、積極的に取り扱っている。
- ▶ 被災地に関する学習会や報告会、視察・交流・体験活動等の現地訪問の機会を創出（消費者側参加者10,839名）し、当生協内外に向け、積極的に広報活動を行っている。

## 背景・経緯

- ▶ 東日本大震災等によって、東北地方では福島県を中心に深刻な風評に悩まされていることを知り、「生産」の側からだけでなく、消費者団体でもある生活協同組合として活動開始。
- ▶ 平成23年～：放射性物質や検査体制等についての機関紙等での広報活動とともに、福岡県内の報道機関に向け、活動や被災地産食品の情報発信。
- ▶ 平成24年～：岩手・宮城・福島県から関係者等を招き、現地報告会開催。
- ▶ 平成25年～：宮城・福島県内の被災地等を巡る旅行商品を企画実施。東日本大震災等の被災地等で生産製造されている農水産物・加工食品を積極的に取扱。
- ▶ 平成26年～：福岡県内のイベントに出展、活動紹介・被災地産食品のPR実施。
- ▶ 平成28年～：「福島県産農産物応援フェア」開催。東日本大震災、平成28年熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨の各災害被災者同士の交流会開催。
- ▶ 平成29年～：被災地産食品を活用した調理実習開催。



放射性物質濃度検査の説明を受ける組合員



岩手県田老町漁協復興支援学習会



岩手、宮城、福島の食材を利用した食事会